

วารสาร กรุงเทพฯ

カルンテ-ブ。

2019 AUG
VOL 27 (618)



泰国日本人会



วารสารกรุงเทพฯ ฉบับประจำเดือน สิงหาคม 2562



カトリック大聖堂内部



オールドタウンから
橋の向こうに見えるカトリック大聖堂が美しい

vol.8 チャンタブリー県 異国の文化が交わる 宝石の町

20世紀初めに建てられたゴシック式の聖堂

カトリック大聖堂 (聖母教会)

The Cathedral of the Immaculate Conception (The Church of the Virgin Mary)

タイ最大のカトリック聖堂。1711年に礼拝堂として誕生したのち、改築と修復が繰り返され、1909年、4回目の改築で現在のゴシック様式となりました。2009年に5回目の修復を終えた聖堂は内部が公開されており、聖人が描かれたステンドグラスが美しい。



タイ人が人生で一度は行きたいパワースポット

カオキッチャクト国立公園

Khao Khitchakut National Park

1年のうち2ヶ月しか入山できない標高1050mの山。その頂上には聖なる巨岩と仏足石があり、開山期間中は多くの観光客や参拝客が訪れる信仰の山です。ここを訪れば天国への扉へ近づくとされています。



世界各地から良質な宝石を求めて集まる

宝石通り (トロク・クラチャン通り)

Gems street (Trok Krachab Rd..)

毎週末宝石通りには世界各地からバイヤーが集まります。高い加工技術を認められているチャンタブリーの宝石は、言葉を介さない電卓による取引で世界中へ。



写真・情報提供／タイ国政府観光庁



チャンタブリー県

access

バンコクから車で約4時間。長距離バスを利用の場合は東バスターミナル(エカマイ)より30分おきに発着。料金は160B。

タイ湾に面した綺麗なビーチがある一方、内陸部には標高1500mにも及ぶ山があるなど自然豊かなチャンタブリー。フランスに占拠されていた歴史と、宗教弾圧から逃れてきたベトナム人、チャンタブリー川沿いに交易に訪れた外国人など、様々な人種と文化の影響を受けて独自の発展を遂げてきました。世界有数の宝石市場・加工地としても知られ、古くからタイ国内外のバイヤーの注目を集めています。



オールドタウンは歴史を感じさせる街並でありながら新しいカフェやレストランなどができ、カメラを持ったタイの若者で活気にあふれている

占拠の歴史が色濃く残る

トゥックデー&クックキーガイ (鶏糞刑務所)

フランス兵舎として使用されていた赤い建物は現在、小さな博物館。自然と朽ちた壁の模様がラマ9世の肖像画に似ていると、タイ人の間で人気のスポットです。また、すぐ近くにあるクックキーガイ(鶏糞刑務所)はフランス占拠時(1893~1905)に捕虜の収容所として建てられたもの。1階に捕虜を収容し、2階で鶏を飼育して捕虜に鶏糞を浴びせるという、当時のフランス軍のアジア人への対応の酷さを伝える歴史的建造物になっています。





P15



P33



表紙：タイ最大のカトリック聖堂（聖母教会）
 The Cathedral of the Immaculate Conception
 (The Church of the Virgin Mary)
 場所：チャンタブリー市（チャンタブリー県）
 礼拝堂として誕生したのは18世紀初頭という、
 歴史あるタイ最大のカトリック聖堂。荘厳で端
 正な佇まいは、様々な文化を受容してきたチャン
 タブリーの町でひと際目を引きます。ステンド
 グラスも必見。内部の見学も可能です。

写真提供／タイ国政府観光局

Copyright of The Tourism Authority of Thailand

8月号 目次

【特集】

0 4 **日本人会の社会貢献活動Ⅱ**

クロントイ幼稚園：遠足と園舎改築費用の支援
 ヘルス アンド シェア ファンデーション：ファミリーキャンプ開催費用と
 奨学金支援

2 0 **学校だより拡大版：チャム臨海学校
 「できることより、変えること！」を大切に!**

バンコク日本人学校 小学部5学年主任 鈴木淳也

【活動報告】

1 5 **インド料理デモンストレーションランチの会**
 【企画推進部・婦人部共催】

1 6 **盛田弥生先生のボイストレーニング体験会開催**
 【文化部】女声コーラス

1 7 **第57回日本人会バドミントン親睦大会を終えて**
 【運動部】バドミントン同好会

1 8 **剣道サークル ミニ剣道大会を終えて**
 【運動部】剣道サークル

1 9 **日本人納骨堂堂守小川師との写経会と高野山納経式**
 【事業部】

【投稿】

1 0 **プレム枢密院議長を追悼する タイ英傑の素顔**
 元駐タイ王国特命全権大使 小林秀明

【作品発表】

1 2 **バンコク短歌会**

1 3 **メナム句会**



P34

【連載】

0 2 **Open to the New Shades vol.8 チャンタブリー県**
 異国の文化が交わる宝石の町

2 8 **河の都アユタヤー** レヌカー・M
 マラッカとアユタヤー（2）

3 0 **きっかけはタイ タイから繋がるライフストーリー vol.4 新田咲子**
 手仕事が好き、タイが好き。チクチク縫って人ともものを繋ぐ場に。

3 4 **タイのお菓子は二度おいしい** ムシカシントン 小河修子
 メッカヌン
 ジャックフルーツの種をかたどった緑豆餡に卵をからめたお菓子

【広報欄】

1 4 **バンコク子ども図書館 8月の新着本紹介**

1 4 **会報誌クルンテープは2019年10月号より
 季刊誌として新しく変わります。**

2 6 **理事会議事録（6月度）**

2 7 **ゴルフ部月例会成績**

2 7 **編集後記**

3 3 **すくすく会通信 Vol.16**



朝、スラム内の路地を通してバスが停車している大通りまで園児を誘導



バスに乗ったとたん、興奮してはしゃぎだす園児たち



ペットボトルや廃品で作ったリサイクルオモチャで遊んだ



ヘルスアンドシェア
ファンデーションからの報告。
昨年10月に行われた
チャリティーバザーの
純益金から、
活動費用を寄付しています。

また、改築した部屋は、放課後になると家に帰りたくない卒業生などが夜遅くまでスラムをうろついているのを見かね、15年程前に園の一面をコンテナ用の木材やロッカーを並べて囲い、「白い部屋」と名付け、このような子どもたちがいつ来てもいいように放課後開放していた場所です。現在では園庭を開放して夜遅くまでフットボール活動を行っているのですが、白い部屋の存在は必要でなくなったものの、老朽化し木枠が折れていたり危険なため、子どもの出入りは禁止され物置となりました。

今年度は、この部屋が園でのいろいろな活動に再び利用できるよう支援をお願いしました。学年度末の長期休み中に改築が行われ、新学期には見違えるほど綺麗な部屋になりました。

2013年度末に、約20年間園を支援をしていたオーストラリア人の宣教師一家が突然帰国し支援を打ち切った以来、園の運営は急激に悪化。以前は、年に一度園で必要なものを日本人会チャリティー基金に支援をお願いして購入させていたでいていました。しかし、校舎の老朽化が進みここ数年は年度替りの休みに校舎内の設備など、大

家に帰りたくない卒園生の居場所だった「白い部屋」は、老朽化して危険なために物置になっていました。日本人会の支援で改築し、みんなが使える多目的のルームに生まれ変わりました。



改築してきれいになった部屋で、楽しいおやつタイム。天井裏はロフト



①



②



③



④

①かつて子どもたちを守ってきた「白い部屋」。老朽化して危険なため子どもの出入りは禁止され物置になっていた ②解体作業開始 ③床は底上げしてタイル張りに ④放課後に少年フットボールチームが利用

掛かりな修繕、改築の費用をご支援いただいています。本来この園の役割は、日中保護者が働きに出られるよう幼児を預かるだけでなく、放課後や週末は非行防止のために青少年のフットボール活動、また、定職のない女性に収入が得られる様手作り品の指導等を行ったり、園周辺に住むスラム住民個々の生活向上です。年に一度、スラム内の職人を雇って大規模な修理をすることで本来の役割である地域住民への貢献、休み中に作業を行うことで給食担当やクラス担任の補助をしている臨時職員を休み中も継続して雇うことができます。特に日当で生計を立てているスラムの職人は、年間を通して、園が修理に困っていると仕事がない日に無償でペンキ塗りや屋根や自転車の修理に来てくれることもあり、このように住民と良好な相互関係が保てるのも貴会のご支援があつてのことと大変感謝しております。特に昨今、幼稚園の運営が困難する中、長年にわたり絶えることのない貴会の温かいご支援は大変心強く、今後も前進に努力していきたいとの意向です。



2～9歳のグループ

①ブロックで家や動物を作ったりしながら、自分のアイデアと想像力を表現 ②お話を聴いて話し合う。どの子たちも内容と絵に興味を示した ③みんなお絵かきやぬり絵が大好き

①



③



②

ヘルスアンドシェア ファンデーション

Health and Share
Foundation (HSF)

■日本人会の支援

HIVの問題を抱える家族が共に学ぶ
ファミリーキャンプの費用と

15名の子どもたちに支給される奨学金
合わせて12万8750バーツを寄付。

「ヘルスアンドシェアファンデーションHealth and Share Foundation (HSF)」は、ウボンラチャターニー県ケマラート郡でHIV/AIDS感染予防活動とHIV陽性者サポートを行うタイのNGO団体です。

去る5月2日と3日にかけて、HIVについて学ぶファミリーキャンプを行いました。

参加者は42名、HIVに感染している子どもから親までが参加しています。

キャンプでは主に①AIDSに関する知識とかかわり方、②HIVの予防、リスク管理などを、2歳から9歳の子どもグループ、10歳から22歳のグループ、大人、HIVの子どもたちと接する人向けのグループの3グループに分かれて学びました。

▼2歳～9歳のグループ
このグループでは、友達と一



10~22歳のグループ

④性に関する質問をカードに書いてブレインストーミング ⑤HIVと妊娠の予防方法を学習 ⑥女性の体を描いて、子どもから青年期にかけての身体と心の変化を語り合った



大人、HIVの子どもたちと接する人のグループ

⑦「どんな父親・母親か?」。選んだカードの絵を手がかりに、子育ての方法、子どもからどう思われているかを発表し話し合った ⑧自分の村の絵を描いてグループ内とこのキャンプ内のルールに関して考えるプログラム ⑨性とリプロダクティブヘルスについて学んだ



全員で

⑩ウボンラチャタニー動物園にフィールドトリップ ⑪⑫みんなと一緒に参加するゲームや遊びの数々に笑顔が輝いた





5月2日、AIDSと共に生きる15名の子どもたちに奨学金が授与された

緒に物を作り、踊ったり、遊んだり、一緒に食事をして、手を洗う事、お風呂に入ること、頭を洗うこと、清潔を保つことについて学びます。空き時間にはスタンプが手伝いながら各自爪を切りました。

▼10歳から22歳のグループ

10歳から22歳の子どもたちは、性別や命について、性行為などについて学び、理解することを目指しました。まず始めは、性に関する質問をそれぞれブレインストーミングを行い挙げていきます。ボランティアスタッフがそれぞれの質問をグループ分けし、教えていきます。

その後、男の子、女の子のグループに分け、絵を描いて説明、コンドームの使い方、HIVの説明等を行いました。そして、避妊や、自分で防ぐこと、家族とのコミュニケーションの取り方などを学びました。

▼大人、HIVの子どもたちと接する人向けのグループ

大人のグループではまず自己紹介から始めました。カードに描かれた絵を1枚選び、自分の子育ての方法、子どもからどう思われているかを発表しました。

ある参加者は巨人の絵を取り「私は自分のこどものことを心配しすぎるあまり、時に巨人のように気分が悪くなることもある」と言い、また別の参加者は「私は月に似ていると思う。私は彼女の光であり、私は彼女の全てです」と月の絵を持ちながら話しました。

自己紹介の後は、子どもたちの成長について学びました。子どもたちの体は男性、女性へと成長していき、止めることはできないこと、また、HIV感染者または感染のおそれのある子どもたちのために発達と行動の両方を理解しなければならぬことを学びました。

また、5月2日にはAIDSとともに生きる15名の子どもたちに対し、奨学金授与式が行われました。

タイ国日本人会の支援により今年もファミリーキャンプと奨学金の支給を行うことができました。このプロジェクトによりHIVの問題を抱える家族の助けとなり、健康で安全な生活の質の向上へとつながります。ファミリーキャンプを開催できる機会を与えていただき、感謝申し上げます。ありがとうございます。

プレム枢密院議長を追悼する タイの英傑の素顔

元駐タイ王国特命全權大使

小林 秀明

このたびのタイ王国プレム枢密院議長の逝去は「巨星ついに墮つ」という月並みな表現では言い表せないほどの重みがある。プレム枢密院議長（以下「プレム議長」）がタイ政治史上で果たした役割については、その道の専門家に任ずることにして、私はプレム議長との個人的な交流の思い出を記してみたい。

私がプレム議長に最初にお目にかかったのは、大使としてタイに着任した直後の2005年末頃に、表敬訪問をした時であった。その時にプレム議長はすでに86歳。長年にわたり陸軍司令官、首相、枢密院議長などとしてタイ政治の中心で重きをなしてきた、いわばタイ政治の生き証人が、当時も現役で活動していること自体が私にとって驚きであった。しかしもっと驚すべきことは、プレム議長がその後も14年間にわたりタイ政

治の中核で枢要な役割を果たし続けたことである。

プレム議長に叱られる

その表敬訪問の際の出来事である。まず私は、プレム議長にお会いした途端に、その存在自体から生じる風圧のようなものに圧倒された。それは、百戦錬磨のつわもののみが放射するオーラのようなものとも言えた。

私は、この表敬の機会に、日本とタイの現在の経済・政治面での友好関係の基礎に、日本とタイの皇室・王室間の親密な関係があることを強調したいと思った。そこで、まずイントロとして両国間の互恵的な経済関係や政治面での協力関係などについて話をした。私の話が一息切れた時に、プレム議長が口をはさんだ。「大使、あなたは大切なることを忘れてる。それは両

国の王室と皇室の関係です。」私は、まさにそのことをこれから言おうとしていたのですと答えたが、プレム議長からすれば、日本の大使が日タイ関係を語る際に、真っ先に王室・皇室の關係に言及しないのはもつての外との気持ちだったのであろう。プレム議長のタイ王室と日本の皇室を思う気持ちの深さを実感した次第である。

WHO事務局長選挙で助けられる

2006年の末に、当時の浅野外務副大臣がWHO（世界保健機構）事務局長選挙に日本から立候補していた尾身茂さんへのタイ政府の支持を取り付けるために、タイにやってきた。それに先立つ数ヶ月前の9月に発生したソンテイ将軍によるクーデター以降、日本政府を含む西側先進国政府は、タイの新政権

とのハイレベルの接触を控えていた。そのため浅野副大臣はクーデター後最初の日本からの政治レベルの訪問者となった。浅野副大臣は、日本にいる時から何らかの「つて」でプレム枢密院議長とのアポイントを取っていた。

実は、タイ政府はWHO事務局長選挙については、その時点ですでにあるアジアの大国推薦の候補の支持を決めていた。というのは、9月のクーデター後、その国の政府は、「内政干渉」を振りかざして、西側諸国政府から冷たくあしらわれてきたタイの新政権との友好関係を積極的に築こうとする姿勢を示してきたからである。

私は、そのことを知っていたので、一筋縄ではタイ政府の態度を尾身候補支持に変更することはできないと考えていた。そこで私が考えたのは、「浅野副大臣のタイ訪問は、日本政府がタ



小林元駐タイ日本国大使

イの新政権との友好関係を築く希望を持っていることを黙示的に示すものだ」とタイ側を受けた。(実は、その時点で日本政府はそこまで踏み切っていない。たかもしれないが、タイ側がそう理解するとすれば、それはタイ側の勝手と言えよう。)

それで私は、浅野副大臣にこのようにお願いした。「貴(浅野)副大臣が尾身候補支持要請のために今回タイを訪問されたらとタイ側が受け取れば、タイ側は従来態度を変えないでしょう。しかし、タイ側が貴副大臣の今回の訪問は日本政府がタイの新政権との友好関係を進める用意があることを示すものと受け取れば、WHO事務局長選挙についての態度を変えるかもしれません。支持要請は「来たついでに」お願いするものだと思います。」

う姿勢を取られてはいかがでしょうか。」

浅野副大臣は、プレム議長との会談で私の提案を踏まえて発言してくれた。浅野副大臣が「私の今回の貴国訪問は日本政府が貴国政府との友好関係を進めることを示すもの」との趣旨の発言をしたところで、プレム議長は満足の表情を示した。浅野大臣は最後に、個人的なお願いのように頭を下げながらWHO事務局長選挙についてタイ政府の支持をお願いした。プレム議長はちよつと驚いたようだったが、微笑みながらうなずいた。

その後、しばらくしてタイの外務省関係者から、タイ政府は従来立場から日本の候補支持に変更したという説明を受けた。私はプレム議長の「鶴の一声」があつたのだなと思つた。(但し、残念ながらWHO事務局長選挙では結局尾身候補は当選できなかった。)

プレム議長の日本大使公邸訪問

さて私はタイに大使として着任以来、できるだけ多くのタイ

要人を大使公邸にお招きして親交を深めるよう努力してきた。タクシン首相、スラユット首相、アピシット首相らの政府要人だけでなく、ワチラロンコン皇太子殿下(ご夫妻(当時))、シリントーン王女殿下等王族方にも大使公邸において頂いた。

しかし、プレム議長だけは、長らくご招待をためらっていた。というのは、前に述べたプレム議長の方から私と大使館員をホテルのレストランへ招待してくれた。この時私はすでに身構えることなくプレム議長との懇談に臨むことができ、ランチを大いに楽しんだ。

そうした中私は、あるイベントでプレム議長にお目にかかる機会があつた。私が通り一遍のご挨拶をしたところ、プレム議長は「私はあなたの公邸に伺つたことはない。」と言われたのである。私は狼狽しつつ「貴議長が大変お忙しいのでお招きするのを遠慮していて、まことに失礼しました。すぐご招待させて頂きます。」と返事をした。そしてさっそく招待状を出す。承諾の返事があり、ほどなくプレム議長が日本大使公邸のダイナーにおいでになった。

ダイナーでは、プレム議長が極めて博識であり、しかもユーモアのセンスに長けていることが印象的であった。もちろん終始威厳を感じさせたが、その穏やかな人間味のある語り口は、私の緊張をほぐすのに十分であつた。

私としては、これではなすべきことは果たしたという実感だったが、その後、今度はプレム議長の方から私と大使館員をホテルのレストランへ招待してくれた。この時私はすでに身構えることなくプレム議長との懇談に臨むことができ、ランチを大いに楽しんだ。

こうして、多少なりともプレム議長の警咳に接することになり、このタイ政治史上に大きく名を刻むことになる英傑の人となりを知りえたことは、大使冥利に尽きると言えよう。

●小林秀明(こばやし・ひであき)2005/2008年、駐タイ王国特命全権大使。国連代表部特命全権大使、外務省儀典長、宮内庁東宮侍従長、内閣府迎賓館館長等を歴任。2011年、外務省退官。主な著書に『クーデターとタイ政治―日本大使の1035日』ゆまに書房など。

バンコク短歌会

二〇一九年六月例会

六月二十三日(日) 十七時十五分〜十九時十五分 パーソナルコンサート社
〜「響」または自由題〜

蟻の子が車道をわたる救急車の叫びの高さ変らぬままの

イーブン美奈子

歌人の心の響きいや増せり歌会後の一杯の酒

大口堂遊

刻^{とく}さざむ音カチコチと響きゐる静寂を裂きて百舌鳥の一声

大口乃り子

雷と雨と風との交響曲ベートーベンがタイに降り落つ

北館尚子

白杖^{はくじょう}を響かせ進む友の背はためらいもせずつまずきもせず

斎藤由利子

「マダミーと呼ぶなら爺々もボスと呼んで」会話始めた三歳を口説く

申人

足速に去る君の靴の残響に月の輪郭指にてなぞる

那須世子

身を削る如くに責務果たされし上皇后さまに安らぎよあれ

藤島みどり

川べりの闇きわだたせジャスミンは我が胸にある響板ふるわす

森上美恵子

目も見えず物も言へずに臥す母にお礼を言へば涙滲み来

祐仙

バンコク短歌会は、原則として毎月第四日曜日の十七時十五分から例会を開いています。
詳しくは幹事の森上美恵子までご連絡ください。初めての方、大歓迎です。
楽しく賑やかな会です。お気軽にどうぞ。ご参加をお待ちしております。

電話 〇八九・八九一・一六八三 メール miekobkk@gmail.com



母語と音の処理の研究に關して、「日本語とポリネシア語が母語の人は、自然の音を人間の声と同じように左脳で処理し、他の殆どの言語が母語の人は、こうした音は雑音として右脳で処理する」という趣旨の興味深い記事を読みました。この研究には反論も出ていますが、確かに日本語では虫の鳴き声や小川のせせらぎを「声」や「思い」として捉えて、擬音語や擬態語で表すことが多いですね。自分の短歌にも、身の回りの様々な響きの「声」を受け止めて、作品に込められるようになればと思います。

(尚子)

メナム旬会

二〇一九年六月旬会

六月八日(土) 十七時〜十九時
於・日本人会本館会議室

兼題 ▼スコール ▼円座 ▼葛餅

／当季雑詠 (投句 五句)

◆今月のエッセイと自選二句 (順不同)

『クルンテープ』誌の創始者・山本みどりさん(二〇〇四年歿、享年76歳)は、遺著『六度目の辰』で来タイ当時(一九六三年)を振り返り「スコールは今のような弱弱しげなものではない。(中略)窓ガラスを叩き破らんばかりのすさまじいスコール…」と書く。今は日本の豪雨の方が…。(堂遊)

客室の円座ひんやりかしこまる 大口 堂遊
夏衣若き日の妻すつと立つ

湯の宿の炉端に円座置かれるる 大口乃り子
スコールに駆け込む軒端犬も居る

スコールにはやてのように逃げる猫 大竹 茜子
葛餅を友と食する甘味処

山桜葉をば記念にのこしけり 嵯峨 春野
新緑の美しいときいまのみぞ

スコールや少女ひっそり膝を抱く 堀井 京子
水しづき避けて夏来るコースター

朝と夕桑の実摘みし十日間 山本 良子
空中の一か所警備くまん蜂

スコールの嘘がひとつも見あたらず イーブン美奈子
ためらひのごとし葛餅ふと揺れて

形よき尻を待ちたる円座かな 岩田真之介
ときめきに期限あるならかき氷

くず餅や魔界天界蜜の中 浮田 恒夫
説教のある事ない事渦円座

旬会仲間、募集中!

初心者も大歓迎です。

- ・一回、無料体験ができます。
- ・楽しく「タイの季語」も学べます。
- ・お気軽に幹事までお問合せ下さい。

◆旬会予定

七月旬会 七月十三日(土) 十七時〜

▼場所・日本人会本館会議室

▼兼題・目高、誘蛾灯、ダリア

八月旬会 八月十日(土)、本館会議室

◆連絡先

幹事 イーブン美奈子 〇九〇—九七〇—二二五六

minakobar@gmail.com



物語

『おばけのアッチとくものパンやさん』

作/角野栄子 絵/佐々木洋子

『ふしぎの国のアリス』

作/L. キャロル 絵/千野えなが 訳/石崎洋司

『おばけマンション おばけのたからもの』

作/むらいかよ

『ひよよとおとしもの』 作/ひよよ

『おやすみゴリラくん』 作/ペギー・ラスマン 訳/いとうひろし

『やさいのがっこう とまとちゃんのたびだち』 作/なかやみわ

『ちきゅうのなかまたち ソウのソフィ』

作/ビッキー・イーガン 絵/ダニエラ・デルカ 訳/秋篠宮 紀子

『そらからぼん〜ん』 作/高島那生

絵本

図鑑

『ランドセルは海を越えて』

写真・文/内堀タケシ

★開館日は、火・水・金・土の10～16時です。(日本人会休館日は閉館)

★バンコク子ども図書館 ☎02-662-4950

★詳しい情報は、www.facebook.com/kodomotoshou をご覧ください。



会報誌クルンテープは 2019年10月号より季刊誌として新しく変わります。

会報誌クルンテープは、2019年10月号より月刊誌から季刊誌として新しく変わります。また、時代に合わせたよりタイムリーな情報発信を強化していきます。クルンテープ誌は、在タイ日本人社会を繋ぐ情報誌として、1968年に第1号を発刊してから51年、これまで618号発行してまいりました。今後は時代のニーズに合わせ、会員様へよりタイムリーな情報をお届けすると共に、タイ国日本人会の活動を会員外の皆様にも幅広く知って頂くため、9月からウェブサイトのリニューアルし、LINE、Facebookでの発信を含め、情報発信を強化してまいります。特集記事や、同好会の活動、会員の皆様のお役に立つ情報などは、新しく生まれ変わる季刊誌クルンテープにも掲載してまいりますので、ご理解頂きたいいたします。

ウェブサイトリニューアルに伴うSMSメールサービス廃止のお知らせ

新ウェブサイトでは、リアルタイムなイベント情報や最新情報、大使館情報はもとより、入退会のウェブ申請が可能になります。また会員番号でログインして頂くとマイページでイベントの申込や会員名簿、理事会の議事録の確認、住所変更などの手続きが容易となるよう準備を進めております。それに伴い、今までの紙での名簿の配布やSMS緊急メール配信サービスを廃止します。また準備が整いましたら、正式にご案内申し上げます。



【企画推進部・婦人部共催】

室賀さゆり

インド料理

デモンストレーションランチの会

高温のタンドールでチキンやナンが一気に焼き上がる様子に歓声が。デモンストレーション終了後は、インド料理buffetを堪能しました。



5月28日(火)、スクムビット22のHoliday Innで、企画推進部・婦人部共催によりインド料理デモンストレーションランチの会を開催し、約80名の応募者の中から、40名が参加しました。

会場に着くとすぐにウエルカムドリンクと軽食でのおもてなしを受け、配布された資料を見ながら開始時間を待ちます。インド人シェフによるデモンストレーションが始まり、チキンテッカの材料やスパイスの説明を受けた後、手際良く、チキンにしっかりと下味をつけていく様子を見守りました。たくさんのスパイスを使って自分でこんな大変な下準備ができるのかなと思いつつも、次第に会場内が良い香りに包まれていき、焼き上がりを楽しみになっています。

ナンは、家庭でも十分に準備できる材料。コツはやはり練り方と水加減にあるようです。ダルマカニの説明では、特徴ある材料の豆や調味料を実際に見せていただきました。

そのあとは、二つのグループに分かれて、ガラス越しのキッチンに入ります。特注のタンドールは高温で、チキンやナンが

一気に焼き上がる様子に歓声が上がりました。

タンドールでの焼き上げを見せていただいたあとは、今回の料理イベントの目玉のもう一つ、家庭でも美味しく作れる方法の伝授です。さらに奥のキッチンに入り、オーブンで焼き上げる時のチキンテッカとナンの焼き時間やコツを教えていただき、さらにダルマカニの作り方の説明を受け、鍋で煮込む様子を見せていただきました。

デモンストレーション終了後は、眼下に広がるパノラマビューを堪能しながら、日本酒やソフドドリンクとナンやチャパティ、カレー、チキンテッカなどのインド料理buffetを美味しくいただきました。

食事の後、シェフが参加者のたくさんさんの質問に快くお答えくださり、スタッフの皆さんも終始丁寧に対応してくださいました。帰りにはお土産もいただき、初めから最後まで、心地よい大満足の時を過ごしました。

企画推進部、婦人部共に、さらに会員の皆様楽しんでいただける様々なイベントを企画していきます。これからも是非ご参加ください。

盛田弥生先生の ボイストレーニング体験会開催

体をほぐした後、発声練習を行い歌の練習。課題曲は朝ドラ「まんぷく」の主題歌。きれいなハーモニーに仕上がりました。



去る6月3日(月)、毎年恒例のイベントとなった女声コーラス主催の「ボイストレーニング体験会」が開催されました。当日はステイダー新王妃の誕生日で急遽祝日となりましたが、8名の方にご参加いただきました。

現在部員20名で活動している女声コーラスをご指導くださっているのは、国内外で活躍されている声楽家の盛田弥生先生。コーラスの経験や入会動機、年齢も様々な部員を楽しく指導してくださっています。

まずは私たちが日頃行っている準備運動から始まります。ストレッチで体をほぐした後、発声練習を行い、歌を歌うときに必要となる腹式呼吸や口の開き方なども丁寧に教えていただきました。

発声練習の後はいよいよ歌の練習に入ります。今回の課題曲は朝ドラ「まんぷく」の主題歌、Dreams Come Trueの「あなたとトゥラッタッタ♪」。歌っている私たちもとても楽しい気分になる元気な歌です。部員も加わって、高音、低音の2パートに分かれて音取りをし、次に歌詞を加えて数回練習し、

最後にピアノ伴奏に合わせて合唱しました。たった1時間半の間に1曲がきれいなハーモニーに仕上がりました。

参加者の皆さんからは「久しぶりに歌ってとても楽しかった」「声を出すとても気持ちよかった」「ストレッチ発散になった」などという感想をいただきました。

女声コーラスでは、部員募集中です。初心者もお子さま連れも大歓迎です。今回体験会にご参加いただけなかった方も、随時見学を受け付けておりますのでお気軽にお問い合わせください。ぜひ一緒に、美しいハーモニーを一緒に楽しみたいでしょう！

【活動日時】毎週月曜日

10:00～12:00

【活動場所】日本人会別館

【お問い合わせ】

joseichorus.bkk@gmail.com





B2



A1



C1



A2



C2



B1

第57回日本人会バドミントン親睦大会を終えて

【運動部】バドミントン同好会

部長 吉野いづみ

今大会はバンコク内外から94名の方々がエントリーしました。

6月16日(日)、ラケットクラブ(スクムビット・ソイ49)にて「第57回日本人会バドミントン親睦大会」を開催しました。今大会はバンコク内外から94名の方々にエントリーしていただき、バドミントン初心者から実業団並みの方まで相互に親睦を深め合う充実した大会となりました。心より感謝申し上げます。

〈大会結果〉

- [A1] 優勝 ピーラワット サムレップル・西昭彦 (一般・日曜会)
- [A2] 優勝 小林亮太・伊藤亮平 (CilieSC)
- [B1] 優勝 山下史貴・澤井伸介 (SKV71)
- [B2] 優勝 岩井遥香・岡田凰香 (みんなのJBC)
- [C1] 優勝 服部猛志・堀越理輝 (White Arrow)
- [C2] 優勝 藤野和加奈・近藤千恵子 (同好会)

剣道サークル

ミニ剣道大会を終えて

5月25日(土)、日本人学校で剣道サークルの部内大会を開催。中学3年生にとってはサークル最後の部内大会です。3人の中学3年生に感想を寄せてもらいました。

.....
中学部3年 折戸甫匡



僕は去年の12月に家庭教師の先生の勧めで剣道サークルに入った。友達はまだ初段をとって、僕に剣道についての様々なことを教えてくれた。中3だから7月でサークルは出来なくなるが、その日が来るまで自分ができる精一杯に剣道を頑張ろうと思った。そして、本格的に練習が始まった。最初に面を食らった時、僕は脳が痺れるような痛みを感じたのをよく覚えてい

る。面の紐が緩くなっていた。その度にお世話役の方々に結んで貰った。とても感謝している。それ以来、その痛みを味わうことは少なくなっていた。そして先日。僕にとっては初めての大会に出た。戦う直前まで「少しは強くなっているはず」と思っていた。だがそれは過信に過ぎなかった。そして大会当日。緊張しながら竹刀を構えた。僕は初めての大会で勝利を勝ち取ることは無かった。個人戦最後の対戦で僕はまたあの痛みを感じた。最後の最後に面がずれていた。皆は「初心者だからしょうがない」「それでも頑張った方だよ」「相手が強すぎたんだ」と励ましてくれた。僕は負けた悔しさを噛みしめた。その後、剣友会の先生方が色々な技術を教えてくださった。本当に感謝している。あれから僕はその技術を使って練習をした。過去の自分に勝つために。過去の自分は弱かったが、その

弱さを捨てて僕は前に進む。進んだ分だけ強くなる。弱かった分だけ前に進める。少し進んだだけでも確実に強くなる。強くなったら、あとは勝ち取るだけ。こうして練習を繰り返した。次の大会では1回でも勝利を勝ち取るため、勝利を貪欲に奪いにいきたい。僕は弱かった。弱かったからこそ知ることが出来た。元々強くなっていたらこんなに悔しい思いはしなかった。今回の大会では負けたからこそ得るものがあつた。僕は全力で次の大会に挑みたい。

.....
中学部3年 倉地南海雄



5月25日は剣道サークルの部内大会でした。この大会は僕の中学生最後の部内大会です。中学生5人の総当りの試合で優勝を狙っていましたが、2勝2敗で優勝は出来ませんでした。僕は小学4年生で剣道を始め、約5年間剣道が続けることが出来ました。7月一杯で剣道

5月25日は剣道サークルの部内大会でした。この大会は僕の中学生最後の部内大会です。中学生5人の総当りの試合で優勝を狙っていましたが、2勝2敗で優勝は出来ませんでした。僕は小学4年生で剣道を始め、約5年間剣道が続けることが出来ました。7月一杯で剣道

最高学年になり、キャプテンを任されてからは、他人に指示をすることが苦手だった僕をお世話役さん達もいろいろな場面で助けてくれました。7月でサークルは引退ですが、高校受験が終わったら、中学卒業までに二段を取るのが今の僕の目標です。



.....
中学部3年 シッタヌクン雅南

サークルは卒業ですが、高校生になっても剣道が続けていきたいと思いません。剣道を指導して頂いた先生方、世話役の皆さん、今まで有難う御座いました。



【事業部】

山川喜美代

日本人納骨堂堂守小川師との 写経会と高野山納経式

懇和会では写経会を行っています。去る5月20日、有志14名が高野山に赴き、書き上がった写経を高野山金剛峯寺に納める納経式に臨みました。

懇和会の有志で1か月に1回、写経を行っており、日高朝代さんを中心に、約20年、この写経を高野山に納経しております。

写経は、毎回、日本人納骨堂の堂守、小川師のご指導のもと行っており、小川師の呼びかけで瞑想、般若心経（真言宗）を唱えてから写経を始めます。お香で身を清め、墨をすりながら静かに写経の時を迎えます。写経の最後に願意、お願いを書き留めて住所と名前を書き、書き終わります。1年に1人約12枚書き上がります。今回はこの写経を高野山に納めるため、バンコクから総勢14名の有志で伺うことにしました。

5月20日、現堂守の小川師、戦後初代堂守を務められた長原師、14代堂守の加門師、神原事業部長、石井理事、小野・日高名誉会員等、総勢16名にて納経式に臨みました。



高野山金剛峯寺からは、大変名誉なことに、高野山真言宗管長、葛西光義大僧正に納経させていただく機会に恵まれました。神原事業部長が代表して、140巻の写経を葛西光義大僧正にお渡し、大僧正より、額に入った立派な感謝状をいただきました。納経式は、普段一般の方が入ることのできない大広間で行われ、納経式後も寺院内を案内して

いただきました。今回の納経式では、普段できないような旅の機会をいただき、大変思い出深いものとなりました。ご尽力くださいました関係者の皆様に感謝いたします。